

令和4年度 体罰等実態把握調査について

1 調査の内容・方法

(1) 調査の趣旨

体罰の根絶に向けた取組を行うため、都内公立学校における実態を的確に把握する。

(2) 調査対象

区市町村立及び都立学校全 2,152校の校長、教職員、児童・生徒全てを対象に調査を行った。

(3) 調査内容

令和4年度に発生した体罰、不適切な指導、暴言等及び行き過ぎた指導(以下「体罰等」という。)又はその疑いのある事案について調査を行った。

(4) 調査方法

教職員・・・校長による聞き取り調査 児童・生徒・・・質問紙調査及び聞き取り調査

(5) 調査対象期間

令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

2 報告数

(1) 学校別報告数

	小学校	中学校	小計
校種別の内訳	文京区	文京区	文京区
学校設置数	20	10	30
本調査へ報告のあった学校数	6	2	8
本調査への報告数(単位:件)	15	2	17

義務教育学校については、前期・後期課程をそれぞれ小学校・中学校に区分している。

(2) 申告者別報告数 (単位:件)

	小学校	中学校	小計
校種別の内訳	文京区	文京区	文京区
教員本人	3	1	4
他の教員	0	0	0
児童・生徒本人	6	1	7
他の児童・生徒	6	1	7
保護者	6	0	6
地域住民	0	0	0
合計	21	3	24

(注)一つの事案につき複数の報告があるため、(1)の報告数の合計とは一致しない。

3 報告の内容

【体罰の有無】

(※校数は延べ数)

分類		小学校				中学校				高 令和4年度	特 令和4年度	都 令和4年度 合計	
		令和3年度		令和4年度		令和3年度		令和4年度					
		東京都	文京区	東京都	文京区	東京都	文京区	東京都	文京区				
①体罰	人数	3	0	3	0	4	0	4	0	0	0	7	
	校数	3	0	/	0	4	0	/	0	/	/	/	
②不適切な行為	ア 不適切な指導	人数	26	1	37	3	20	0	31	1	6	4	78
		校数	26	1	/	2	19	0	/	1	/	/	/
	イ 行き過ぎた指導	人数	20	0	48	5	36	0	44	1	22	2	116
		校数	19	0	/	4	26	0	/	1	/	/	/
ウ 暴言等	人数	31	1	/	6	16	0	/	0	/	/	/	
	校数	27	1	/	1	16	0	/	0	/	/	/	
③指導の範囲内	人数	80	2	/	14	76	0	/	2	/	/	/	
	校数	75	2	/	7	65	0	/	2	/	/	/	
合計	人数	80	2	/	14	76	0	/	2	/	/	/	
	校数	75	2	/	7	65	0	/	2	/	/	/	

4 体罰の根絶を図るための文京区教育委員会の取組

(1) 学校への指導

- ・合同校園長会及び小・中学校校長会での指導の徹底
- ・全校・園の管理職対象のヒアリング時に体罰根絶に向けた状況を把握し、指導の徹底について助言
- ・指導主事による積極的な学校訪問

(2) 教職員研修の充実

- ・年2回の体罰防止月間において、全小・中学校において服務事故防止研修を実施
- ・中堅教員研修、若手教員育成研修における「服務に関する研修」の充実
- ・アンガーマネジメント研修の実施

(3) 東京都教育委員会の啓発資料の活用

小学校 1～3年生用

- 1 (1) あなたは、学校(がっこう)で先生(せんせい)にしてもらってうれしかったことがありますか。どちらかに○をつけましょう。 ある ・ ない
- (2) (1) で「ある」に○をした人(ひと)に聞(き)きます。それは、どんなことですか。
- 2 (1) (1) あなたは、学校(がっこう)で先生(せんせい)にいやだったこと、やめてほしいことがありますか。どちらかに○をつけましょう。 ある ・ ない
- (2) (1) で「ある」に○をした人(ひと)に聞(き)きます。それは、どんなことですか。

小学校 4～6年生用

- 1 あなたは、学校(がっこう)で、先生(せんせい)やそのほかの人(ひと)から、注意(ちゅうい)をされたときに、たたかれる、けられるなどの痛(いた)いことをされたことがありますか。どちらかに○をつけましょう。 ある ・ ない
- 2 1で「ある」に○をした人(ひと)は、いつ、どこで、だれにどんなことをされたのか、四角(しかく)の中(なか)に書(か)いてください。
- 3 あなたは、学校(がっこう)で、先生(せんせい)やそのほかの人(ひと)から、注意(ちゅうい)をされたときに、くり返し傷(かえ)つく言(こと)ばを言(い)われる、机(つくえ)をけられるなどのこわいことをされたことがありますか。どちらかに○をつけましょう。 ある ・ ない
- 4 3で「ある」に○をした人は、いつ、どこで、だれにどんなことをされたのか、四角(しかく)の中(なか)に書(か)いてください。
- 5 あなたは、学校(がっこう)で友(とも)だちが、先生(せんせい)やそのほかの人(ひと)から、注意(ちゅうい)されたときに、たたかれている、けられている、くり返し傷(かえ)つく言(こと)ばを言(い)われている、こわいことをされているところなどを見たことがありますか。どちらかに○をつけましょう。 ある ・ ない
- 6 5で「ある」に○をした人は、いつ、どこで、だれが、だれにどんなことをされたのか、四角(しかく)の中(なか)に書(か)いてください。

生 徒 用

- 1 あなたは、先生・部活動の指導者・卒業生・上級生から、指導の際、たたかれる、蹴られる、突き飛ばされるなどの肉体的に苦痛を感じるようなことをされたことがありましたか。 有 ・ 無
- 2 1で「有」に○をした人は、いつ、どこで、誰にどんなことをされたのか、枠の中に書いてください。

3 あなたは、先生・部活動の指導者・卒業生・上級生から、指導の際、くり返し傷つく言葉を言われる、机を蹴られるなどの精神的に苦痛を感じるようなことをされたことがありましたか。

有 ・ 無

4 3で「有」に○をした人は、いつ、どこで、誰にどんなことをされたのか、枠の中に書いてください。

5 あなた以外の生徒が、指導の際、先生・部活動の指導者・卒業生・上級生から、肉体的に苦痛を感じるようなことをされたり、精神的に苦痛を感じるようなことをされたりしているところを見たことがありましたか。

有 ・ 無

6 5で「有」に○をした人は、いつ、どこで、誰にどんなことをされたのか、枠の中に書いてください。

参 考 資 料

体罰分類基準

分 類		基 準
①体罰		懲戒のうち、教員が、児童・生徒の身体に、直接的・間接的に、肉体的苦痛を与える行為 【例】たたく、殴る、蹴る、投げる、長時間にわたる正座・起立 (児童・生徒に指示して行わせた場合を含む。)
②不適切な行為	ア 不適切な指導	児童・生徒の身体に、肉体的負担を与える程度の、軽微な有形力の行使 【例】おでこを弾く(デコピン)、手をはたく(しっぺ)、小突く、胸倉をつかんで説教する
	イ 行き過ぎた指導	運動部活動やスポーツ指導等において、児童・生徒の現況に適合していない過剰な指導 【例】目的は誤っていないが、その指導内容・方法等が児童・生徒の発育・発達や心身の現況に適合していない指導、能力の限界を超えた危険な指導
	ウ 暴言等	教員が、児童・生徒に、恐怖感、侮辱感、人権侵害等の精神的苦痛を与える不適切な言動 【例】罵る、脅かす、威嚇する、人格(身体・能力・性格・風貌等)を否定する暴言、馬鹿にする、集中的に批判する
③指導の範囲内		注意喚起や指導を浸透させるためにやむを得ず行われた児童・生徒の身体に、肉体的負担を与えない程度の、極軽微な有形力の行使 【例】短時間正座させて説諭する、腕をつかんで連れて行く、頭を押さえる(社会通念上妥当な範囲に限る。)

■出典 体罰根絶に向けた総合的な対策(平成25年9月12日 東京都教育委員会)
 ※参照 学校教育法第11条に規定する児童生徒の懲戒・体罰に関する参考事例(文部科学省)